

1. 研究主題

自らよりよい生き方を求めていこうとする児童の育成をめざした道徳教育

～主題に迫るような発問のあり方と児童・生徒の意見を深化させる授業づくりを通して～

2. 主題設定の理由

本校では、『ふるさとを愛し、人と関わり支え合いながら、自ら進んで学び続ける、心も体もたくましい児童の育成』を学校教育目標とし、「強い子、正しい子、明るい子」の育成を目指している。「なかよく みんなで グン!」を合言葉に、人権・同和教育、特別支援教育の理念を学校経営の基盤とし、温かさと活力に包まれ「児童一人一人のよさを引き出し伸ばしていく」学校づくりを行っている。

昨年まで、本校では「伝え合う力を育てる」ことを中心に研究に取り組んできた。研究の視点を「思考する話し合い～かかわりの場の設定、子どもの発言を生かしつなぐ」とことと「評価～どう使えるようになったか、使えるようになったことを価値付けすることで学びを実感させ次の学習意欲につなげる」とし、根拠が持てる教材の準備（資料・既習事項・生活経験など）・目標に迫り、子どもの意欲につながる問い・子どもの発言をつなぐ・子どもの考えを深めたり広めたりする「問い返し」の工夫を行ったりしながら日々の授業に取り組んできた。このような取り組みの結果、課題に向き合い自分の思いをもととする姿や、意欲的に発表する姿、他者の思いを受け止めようとする姿が見られるようになった。しかしながら、進んで発言する児童に限られていたり、自分の意見や考えを伝えるだけでそれ以上深まらなかったり、相手の意見をきちんと聴こうとする意識が低かったりするといった課題も見られる。そして、これは、全ての教科において共通の課題である。

このような本校の課題から、道徳科において自己を見つめ、道徳的価値を、人との関わりや自分との関わりでしっかりと考え（多面的・多角的に）自己の生き方についての考えを深める力が身に付けば、それを他教科の学習や生活にも活かしていけるのではないかと考えた。そこで、「自らよりよい生き方を求めていこうとする児童の育成をめざした道徳教育～主題に迫るような発問のあり方と児童の意見を深化させる授業づくりを通して～」を研究主題とし、道徳科を中心に研究を進めていくこととした。

3. 研究主題の捉え

○「自らよりよい生き方を求めていこうとする」とは…

～道徳科において、自己を見つめ、道徳的価値を人との関わりや自分との関わりでしっかりと（多面的・多角的）に考え、これからの自分の生活に活かしていこうとする～

4. めざす児童像

- ①自分の意見や考えを進んで伝えようとする子
- ②友達のと自分の考えを比べながら、考えを深めようとする子
- ③自己の生き方についての考えを深めることのできる子
- ④学んだことを学習や生活に活かしていく子

5. 研究の目標

自らよりよい生き方を求めていこうとする児童を育成するために、道徳科の授業において、どのような指導（授業）を行えばよいのか、その効果的な指導（授業）のあり方を実践を通して明らかにする。

6. 研究仮説

道徳科において授業の展開（導入や発問のあり方、効果的な伝え合いの場の設定、ICTの活用等）を工夫したり、道徳的価値の自覚を深めるための評価を工夫したりすれば、自らよりよい生き方を求めていこうとする児童が育つであろう。

7. 研究の内容

仮説の検証のため、以下の2つの視点を設定し、研究を進める。

視点① 授業の展開の工夫

- ア) 導入の工夫（教材の提示の工夫）
- イ) 主題に迫るような発問のあり方の工夫
- ウ) 伝え合いの場の工夫（ICTの活用）

視点② 道徳的価値の自覚を深めるための評価の工夫

- ア) 道徳ノート・WS・タブレット等の記述や記録
- イ) エピソード記録
- ウ) 授業記録等

8. 検証方法

- 児童の発言・つぶやき・行動を基にした検証
- ノート・WS・タブレットの記録等を基に子どもの変容を見取る
- アンケート（事前・事後・レーダーチャートの活用等）

9. 研修計画：年間計画予定表

時期	スケジュール
4月	研修職員会議(今年度の方向性を確認) 全国学力調査(6年)
5月	研究構想・今年度の研修計画
6月	(西益田版別葉完成)
7月	
8月	各学年の取り組みの振り返りと2学期に向けて 全国学力調査結果返却・分析
9月	「気づきと対話」プレ授業
10月	
11月	「気づきと対話」公開授業
12月	県学力調査(5・6年) 各学年の取組の振り返りと3学期に向けて
1月	研修仮説・手立て等の検証と評価
2月	県学力調査・全校学力調査結果分析 今年度の研究のまとめ(成果と課題・改善策の共有化)
3月	来年度の研究の方向性

*一人一授業公開
*研究大会参加・伝達

※来年度の発表に向けて、今年度の取り組み

今年度の研究は、来年度の発表を見据えての研究と捉えて進めていきたいと思ひます。

☆一人一授業について…全員参観の授業公開をお願いします。(9月～12月頃)

・来年度の発表に向けて、基本的には通常学級(1～6年)のみ実施(フリー部の先生、特別支援学級の担任の先生方については、授業作りのところで関わっていただきたいです。)

◎一人一授業(授業公開)を行い、互いに研鑽をつみましょう。(また、希望日をお聞きします。)

→基本的には、6・7月のところで、研究の内容に沿って、それぞれ授業づくりを行う。

→やりながら学年部等で検討していく。

→夏季休業中に一人一授業の授業作り・指導案検討等を行う。

・今年度は来年度の発表におけてできるだけ全体で研修(指導案検討・研究協議)ができればと思ひます。【基本的には低・中・高で授業づくり(指導案検討)についての話し合いですが…。(管理職+研究主任は参加)】

10. 研究構想図

《学校教育目標》
 ふるさとを愛し、人と関わり支え合いながら、
 自ら進んで学び続ける、心も体もたくましい児童の育成

【研究主題】
 自らよりよい生き方を求めていこうとする児童の育成をめざした道徳教育
 ~主題に迫るような発問のあり方と児童の意見を深化させる授業づくりを通して~

【めざす児童像】

- ・自分の意見や考えを進んで伝えようとする子
- ・友達の考えと自分の考えを比べながら、考えを深めようとする子
- ・自己の生き方についての考えを深めることのできる子
- ・学んだことを学習や生活にいかしていく子

【研究の視点】

道徳科の授業
において…

学校教育目標の
達成において…

視点① 授業の展開の工夫

- ア) 導入の工夫
- イ) 主題に迫るような発問のあり方の工夫
- ウ) 伝え合いの場の工夫

視点② 道徳的価値の自覚を深めるための評価の工夫

- ア) 道徳ノート・WS・タブレット等の記述や記録
- イ) エピソード記録
- ウ) 授業記録等

【支えとなる日常の取り組み】

人間関係づくり	学習集団づくり	言語環境の整備
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと西益田のひと・もの・ことにふれる ・あいさつを基盤とした人間関係づくり ・健康的・時間を意識した生活習慣づくり ・規範意識を高める ・温かい人間関係づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が大切にされている集団作り ・学習に向かう体づくり（姿勢の保持等） ・学習規律の徹底 ・対話を取り入れた授業づくり（ペア、グループ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の授業での足跡等の掲示 ・朝礼や終礼でのスピーチタイム ・いろいろな場での発表・発信 ・読書の推奨

【検証方法・評価】

- 道徳科の授業における、児童の発言・つぶやき・行動等を基にした検証
- ノート・WS・タブレットの記録等を基に子どもの変容を見取る
- アンケート（事前・事後・レーダーチャートの活用等）
- 学校評価の成果指標

学習スタイル

「考え、議論する道徳」の授業の実現に向けた学習のポイント

- ① 問題意識をもって授業に臨む
- ② 自分との関わりで捉え、考える
- ③ 多面的・多角的に考える
- ④ 自らをふり返り、自己の生き方について考える

このために・・・(授業で大切にしたいことは・・・)

☆学級経営の充実 児童同士が何でも伝え合える雰囲気をつくること♡

☆児童の実態把握 教材を使って生き方を学ぶためには、必要不可欠!! →意図的な発問や活発な対話を生む重要な要素

学習の流れ

とり急ぎ、何となくイメージしてみました。これからみなさんと具体的に考えていけたら・・・

指導者のポイント

教材の中に描かれている問題について、児童が問題意識をもてるように導く(児童が問題意識をもてれば、「教材を学ぶ」ではなく、自然と「教材を使って考える」姿勢に・・・)
スタートラインをそろえる

☆自分との関わりを表現するための発問の工夫
☆まずは、一人一人が自分の考えをもつ時間を確保する
☆次に、対話的な場の設定
問いかける つなげる
共感する 価値付ける等

☆多面的・多角的に考えるためには、児童同士や教師との対話、教材の登場人物との対話等様々・・・
◎その価値を実際の生活や人間関係とリンクさせて意識付けることが重要→対話や意見の違いを整理して板書する

☆これからの生き方について、課題や希望をもつための大切な時間→ノート・WS・タブレット等...必ず書かなくてはいけないということではない。自己の生き方について、考えを深めるための手段の1つが「書く」活動・・・
だが、大切なのは、自らをふり返り、考える時間をもつこと♡

主体的な学び・対話的な学び

深い学び

学びの自覚

つかむ

- ・今日考えることは・・・
- ・イメージがもてないなあ・・・

見通す

- ・こういうことかな
- ・そういえば、自分も同じ経験が・・・
- ・この前、〇〇さんが・・・
- ・劇にしたらわかるかも

考える

- ・わたしだったら・・・
- ・わからないなあ・・・
- ・みんなはどう思っているのかな
- ・自分の想いは伝えにくいから、もし、〇〇だったら・・・って話してみよう!
- ・〇〇さんはそんな風に思うんだ
- ・自分もそうかも・・・

伝え合う

議論する

- ・Aさんの言いたいことは・・・
- ・Bさんの気持ちはわかるけど・・・
- ・本当はその方がいいけど、登場人物と同じ状況になったらできないかも・・・
- ・AさんとCさんは同じ考えて、Bさんとは違う考えだな・・・

考える

- ・できるかわからないけど・・・
- ・できることからやってみようかな
- ・これからの生活でやってみよう!

ふり返る